

2024年度  
鳥居龍蔵記念

# 徳島歴史文化 フォーラム 報告書



2025年

**2月15日** [土]

中学生の部 10:00~12:45

高校生の部 14:30~15:35

主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 徳島県立博物館

後援 徳島県博物館協議会

# 2024年度 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム プログラム

日時：2025年2月15日(土) 10:00～15:35

会場：文化の森イベントホール

## ■中学生の部■ 10:00～12:45

- 研究報告1 「阿波三盆糖の歴史」  
徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程） 生田 駿
- 研究報告2 「1300年前の古代碑『阿波国造墓碑』を読み解く」  
徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程） 岡田 佐々
- 研究報告3 「近代日本経済の父渋沢栄一について」  
徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程） 木戸 陽輝
- 研究報告4 「井戸の歴史と蔵珠院まいこみ泉」  
鳴門教育大学附属中学校 原田 千央
- 研究報告5 「淡野丸山古墳について」  
鳴門教育大学附属中学校 船場 晴仁
- 研究報告6 「松江豊寿の軌跡を追って―偉人から学ぶ側隠の情―」  
徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程） 元木 日菜
- 研究報告7 「阿波の文化遺産『藍染』について」  
徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程） 渡部 想介
- 研究報告8 「土御門天皇と阿波」  
鳴門教育大学附属中学校 若木 聡良

## ■高校生の部■ 14:30～15:35

- 研究報告1 「土成丸山古墳表採埴輪の検討」  
徳島県立脇町高等学校 園田 映音
- 研究報告2 「蜂須賀家万年山墓所 清掃活動をとおして」  
徳島県立城北高等学校 新居 稔也、金原 涼太、小竹 鉄平、  
高橋 燈路、大頭 賢太郎



とり いりゆうぞう  
鳥居龍蔵 (1870-1953)

1870(明治3)年に現在の徳島市東船場で生まれた考古学・人類学・民族学の研究者。20歳で上京し、東京大学人類学教室の坪井正五郎に師事した。日本国内はもとより、台湾、中国西南部、中国東北部、朝鮮半島、シベリア、サハリン、千島列島など、東アジア各地のさまざまな民族の言語、習慣、生活文化を調査し、遺跡の発掘調査を行った。その膨大な調査成果の主要なものは、『鳥居龍蔵全集』全13巻にまとめられている。

## 阿波三盆糖の歴史

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）

生田 駿

### ■研究の概要

徳島で有名な阿波三盆糖は、私の住んでいる上板町と何か関係がないか疑問に思った。そこで、上板町歴史民俗資料館に行き、展示資料を見たり資料館の職員に質問をしたりした。その結果、丸山徳弥という一人の青年による決死の努力で、上板町に阿波三盆糖が伝えられたこと、現在でも岡田製糖所では約200年前の製法で昔ながらの味が守られていることがわかった。

### ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

丸山徳弥の碑（上板町）

### ■利用した博物館・資料館等

上板町歴史民俗資料館



## 1300 年前の古代碑「阿波国造墓碑」を読み解く

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）

岡田 佐々

### ■研究の概要

以前の津波碑の自由研究がきっかけとなって石碑に興味を持った。さらに調べてみると、私の住む徳島市国府町に隣接する石井町の中王子神社には、全国で9つしか現存しない古代石碑の一つがあると知り、読み解きたいと思った。文献やインターネット等でその阿波国造墓碑や被葬者である粟凡直弟臣、時代背景などを調べ、碑文の意味を一字ずつ辞書で調べ読み解いた。また、中王子神社など関連史跡を調査した。その結果、阿波国造墓碑が建てられた723（養老7）年は朝廷が律令政治を推し進めていたこと、墓碑の主である粟凡直弟臣は有力な豪族であったことなどがわかった。

### ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

阿波国造墓碑、中王子神社（以上、石井町）、矢野の古墳、観音寺遺跡、気延山（以上、徳島市）

### ■利用した博物館・資料館等

徳島県立博物館



## 近代日本経済の父渋沢栄一について

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）  
木戸 陽輝

### ■研究の概要

大河ドラマ「青天を衝け」を見て渋沢栄一に興味を持った。渋沢栄一が出会った人物や、設立した会社について調べ、渋沢史料館などに行き調査をした。その結果、渋沢栄一は埼玉県出身であるけれども徳島県とも関係があることを知り、驚いた。また、印象的だったのは、亡くなった91歳まで仕事を続け、最後まで人々の役に立とうとしたことであり、感銘を受けた。

### ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

—

### ■利用した博物館・資料館等

渋沢史料館、徳島市立徳島城博物館



## 井戸の歴史と蔵珠院まいこみ泉

鳴門教育大学附属中学校  
原田 千央

### ■研究の概要

最近多発している自然災害に備えた「防災井戸」というものがあると知り、井戸にはどのような歴史があるのか気になった。そこで新聞や文献、インターネット等から情報を集め、集めた情報をもとに現地で実物を確かめたり、わからないことをインタビューしたりした。その結果、井戸は大昔から必要とされており、水道が通るまでは大変重要な存在であり、人々は莫大なお金や労力を使い井戸を作っていた。研究をとおして、透明で安全な水はあたりまえではないのだと感じた。歴史を学ぶことで水に対する考えも深めることができた。

### ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

井戸寺、蔵珠院まいこみ泉（以上、徳島市）、藍住町総合文化ホールの水循環型手洗いスタンド（藍住町）、徳島大正銀行鴨島支店設置の防災井戸（吉野川市）

### ■利用した博物館・資料館等

徳島県立博物館、吉野川市立鴨島図書館



# 渋野丸山古墳について

鳴門教育大学附属中学校  
船場 晴仁

## ■研究の概要

私の住む地域にある渋野丸山古墳について知り、説明できるようにしたいと思った。そこで、徳島市立考古資料館で行われていた企画展「渋野丸山古墳大研究」をもとに、自分自身の考えも加えてまとめた。その結果、同古墳の被葬者は当時の徳島で一番の権力者であり、近畿地方の朝廷と深い関わりがあったことや、他の古墳と比較すると、埴輪のつくりが異なるものが混ざっていたり、通常は1種類しかない舟型埴輪が2種類あったりすることから、考古学的に珍しい古墳であることがわかった。

## ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

渋野丸山古墳（徳島市）

## ■利用した博物館・資料館等

徳島市立考古資料館



# 松江豊寿の軌跡を追って—偉人から学ぶ惻隱の情—

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）  
元木 日菜

## ■研究の概要

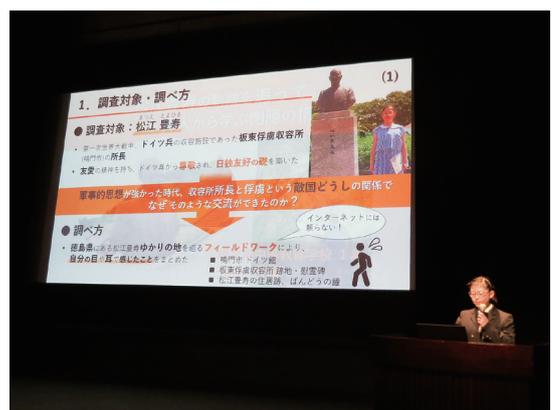
現在も語り継がれている板東俘虜収容所の松江豊寿所長とドイツ兵との交流の様子や、徳島で百年間もベートーベンの「第九」が歌い続けられている理由をより深く知りたいと思った。そこで、鳴門市ドイツ館や松江豊寿ゆかりの地をめぐるフィールドワークを行い、考察を加えた。その結果、松江豊寿は、封建的軍事的思想が強かった時代に、個人の生命、尊厳、安全を尊重し信念を貫いた偉人であった。偉人が難題を乗り越えた軌跡を考察し、自分の行動にも活かしたいと思った。

## ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

板東俘虜収容所跡（鳴門市）、松江豊寿の住居跡（徳島市）

## ■利用した博物館・資料館等

鳴門市ドイツ館



# 阿波の文化遺産「藍染」について

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）  
渡部 想介

## ■研究の概要

藍染文化の普及に取り組む藍住町の住民として、阿波藍についての知識を深めたいと考えた。そこで、吉野川と藍栽培との関連や藍染の歴史について調べるため、藍住町歴史館 藍の館を訪れて藍染に関する資料を調査し、藍染体験も行った。その結果、阿波藍繁栄の背景には綿織物の普及や徳島藩による藍事業の保護、藍作に適した徳島の地理と気候等の要因があることが分かった。研究をとおして、先人たちが命懸けで守りつないできた伝統文化を、後世へ伝えていきたいと思った。

## ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

奥村家住宅（藍住町）

## ■利用した博物館・資料館等

藍住町歴史館 藍の館



# 土御門天皇と阿波

鳴門教育大学附属中学校  
若木 聡良

## ■研究の概要

以前から日本史に興味があり、特に神社について関心があった。今年の春にはじめて阿波神社を訪れた際、土御門天皇がまつられていることに驚いた。そこで、フィールドワークを実施したほか、徳島県民を対象に阿波神社や土御門天皇のことを知っているのかのアンケート調査を実施した。その結果、阿波神社は、承久の乱という歴史的な出来事と結びついており、近代になって建立された神社であった。社殿の造営には県民が大きく貢献しており、地域住民にとって重要な存在であった。しかしアンケート調査では、回答者の80%が土御門天皇を知らず、また阿波神社を知っているが土御門天皇の火葬塚を知らないと回答した人が87%もあり、知名度の低さに驚いた。

## ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

阿波神社（鳴門市）、御所神社（阿波市）

## ■利用した博物館・資料館等

徳島県立博物館、徳島市立図書館



## 土成丸山古墳表採埴輪の検討

徳島県立脇町高等学校  
園田 映音

### ■研究の概要

土成丸山古墳で自分が表採した埴輪は、同じ古墳から出たほかの埴輪と色調が異なっており、どの地域から供給されたのか気になった。そこで表採した埴輪の混和材を顕微鏡で観察し、産地を調べた。その結果、この埴輪は現在の徳島県内で生産されたものではなく、瀬戸内地方から供給された可能性が高いことがわかった。また、円筒埴輪にも2種類あり、形象埴輪は円筒埴輪とは別に焼成された可能性が高いことも確認できた。

### ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

土成丸山古墳（阿波市）

### ■利用した博物館・資料館等

徳島県立埋蔵文化財総合センター



## 蜂須賀家万年山墓所 清掃活動をとおして

徳島県立城北高等学校

新居 稔也、金原 涼太、小竹 鉄平、高橋 燈路、大頭 賢太郎

### ■研究の概要

中学生の時から参加していた蜂須賀家万年山墓所の清掃活動を行う中で、同墓所に興味を持った。そこで、徳島市立徳島城博物館や同墓所を訪れ、蜂須賀家が阿波に入国してくる歴史や、十代藩主蜂須賀重喜の藩政改革の内容について調べた。その結果、蜂須賀家墓所は、儒教式墓（万年山）と仏教式墓（興源寺）を併用した大名墓であり、全国でも例が少ないこと、国の史跡指定を受け修復工事が行われたこと、現状を維持するために清掃活動を地域を挙げて取り組んでいることがわかった。

### ■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

徳島藩主蜂須賀家墓所 万年山墓所（徳島市）

### ■利用した博物館・資料館等

徳島市立徳島城博物館



# 審査結果

## ■中学生の部■

### 【優秀賞】

「井戸の歴史と蔵珠院まいこみ泉」

鳴門教育大学附属中学校

原田 千央

「松江豊寿の軌跡を追って―偉人から学ぶ側隠の情―」

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）

元木 日菜

### 【奨励賞】

「阿波三盆糖の歴史」

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）

生田 駿

「1300年前の古代碑『阿波国造墓碑』を読み解く」

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）

岡田 佐々

「近代日本経済の父渋沢栄一について」

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）

木戸 陽輝

「渋野丸山古墳について」

鳴門教育大学附属中学校

船場 晴仁

「阿波の文化遺産『藍染』について」

徳島県立城ノ内中等教育学校（前期課程）

渡部 想介

「土御門天皇と阿波」

鳴門教育大学附属中学校

若木 聡良

## ■高校生の部■

### 【優秀賞】

「土成丸山古墳表採埴輪の検討」

徳島県立脇町高等学校

園田 映音

### 【奨励賞】

「蜂須賀家万年山墓所 清掃活動をとおして」

徳島県立城北高等学校

新居 稔也、金原 涼太、小竹 鉄平、高橋 燈路、大頭 賢太郎

# 審査委員

桑原 恵氏（徳島大学名誉教授）、佐藤 正志氏（摂南大学名誉教授）、中村 豊氏（徳島大学教授）

## —— ガイダンス講座「フィールドワークに挑戦！」 ——

2024年6月2日（日）開催

○自主研究のガイダンスのため、集合場所である JR 蔵本駅から出発して、徳島大学・蔵本キャンパス周辺にある史跡を歩いて巡りました。

参加者 7 名

### 【行程】

JR 蔵本駅→庄・蔵本遺跡周辺（徳島大学・蔵本キャンパス周辺）→徳島大学病院前



ガイダンス講座の様子（左：眉山麓 / 右：徳島大学・蔵本キャンパス）

## —— 現地研修会「文化遺産を巡る旅 in 香川」 ——

2024年11月17日（日）開催

○レポート提出者を対象として、香川県の文化遺産を巡りました。

参加者 1 名

### 【行程】

石清尾山古墳群（香川県高松市峰山公園）→富田茶白山古墳（香川県さぬき市）→さぬき市歴史民俗資料館



現地研修会の様子（左：石清尾山古墳群 / 右：富田茶白山古墳）

# 鳥居龍藏記念 全国高校生歴史文化フォーラム

全国の高校生（徳島県内在住者は除く）から歴史・文化に関する自主研究を募集して一次審査を行い、優秀な研究を表彰しました。

さらに、一次審査の上位5組と「徳島歴史文化フォーラム(高校生の部)」の優秀賞受賞者1組に、口頭発表を行ってもらい、最優秀者を選考し、表彰しました。

## フォーラム（発表会）

日時：2025年2月16日（日）11:00～15:05

会場：文化の森イベントホール

題目・報告者（報告順）

研究報告1 「戦時下の神奈川第一抑留所と北足柄一日記から読み解く抑留所の実態―」

神奈川県立足柄高等学校 歴史研究部 濱崎 要

研究報告2 「その時、私たちの街では一都市公園の石碑から探る日清戦争・日露戦争時の矢板―」

栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会 チーム碑

印南 侑璃、宇野 歌恋、柿沼 実来、杉山 美嘉、田島 優

研究報告3 「興原古墳石材運搬の研究―古墳時代社会への道しるべ―」

長崎県立壱岐高等学校 東アジア歴史・中国語コース 歴史学専攻

片野 一帆、後藤 健、須賀 干城、丸山 隼平

研究報告4 「近代日本の国防政策における『重要地域としての対馬』認識の形成過程」

早稲田大学高等学院 西野 亮祐

研究報告5 「JT（日本たばこ産業）跡地から探る矢板のたばこ産業」

栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会 チーム煙 見山 息吹、山口 喜理

研究報告6 「土成丸山古墳表採埴輪の検討」

徳島県立脇町高等学校 園田 映音

## 審査結果

### 【最優秀賞】

「近代日本の国防政策における『重要地域としての対馬』認識の形成過程」

早稲田大学高等学院 西野 亮祐

### 【優秀賞】

「戦時下の神奈川第一抑留所と北足柄一日記から読み解く抑留所の実態―」

神奈川県立足柄高等学校 歴史研究部 濱崎 要

「その時、私たちの街では一都市公園の石碑から探る日清戦争・日露戦争時の矢板―」

栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会 チーム碑

印南 侑璃、宇野 歌恋、柿沼 実来、杉山 美嘉、田島 優

「JT（日本たばこ産業）跡地から探る矢板のたばこ産業」

栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会 チーム煙 見山 息吹、山口 喜理

「興原古墳石材運搬の研究―古墳時代社会への道しるべ―」

長崎県立壱岐高等学校 東アジア歴史・中国語コース 歴史学専攻

片野 一帆、後藤 健、須賀 干城、丸山 隼平

【入賞】

「東美濃の戦国史と国衆の動向」

岐阜県立関高等学校 地域研究部 森 翔吾、渡辺 俊太、岩原 知哉、佐藤 孝亮、土本 徳哉

「松山平野南部に伝わる伝承の謎を解く」

愛媛県立松山北高等学校 郷土研究部

藤井 初佳、森川 晴仁、岸本 美花、森貞 裕太郎、谷口 凱星、山住 悠里、安部 大晟

「国際電気通信足柄送信所とその役割」

神奈川県立足柄高等学校 歴史研究部 瀬戸 煌生

「地域の戦争の記憶を未来へー松本市戦時中写真カラー化プロジェクトー」

長野県松本県ヶ丘高等学校 滝沢 葵

「三津刈屋畑の戦いと地域の人々の意識」

愛媛県立松山西中等教育学校 佐伯 実留、佐々木 柚

【佳作】

「北条義時」

日本航空高等学校 通信制 鈴木 瞬

「青谷上寺地遺跡水田復元の試み（Ⅱ）ー弥生時代水田の原風景を求めてー」

鳥取県立青谷高等学校 弥生文化探求・青谷学Ⅱ（文学歴史コース）

石井 優希、川角 雪乃、岩田 侑子、本城 ちはや、吉川 楓美、山田 蒼太、杉本 心音花、熊本 鈴佳

「歌が紡ぐ関行男と当時の背景ー『関中佐功績顕彰歌』を中心にー」

愛媛県立西条高等学校 地域・歴史研究部

山田 心萌、塩出 養征、橋本 一優、佐伯 紫月、馬越 結衣那

「大雄山鉄道の歴史」

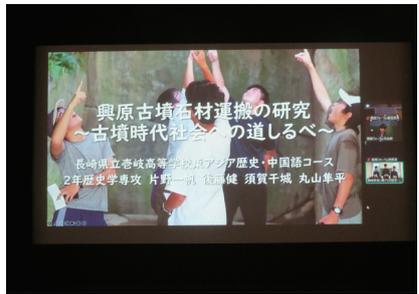
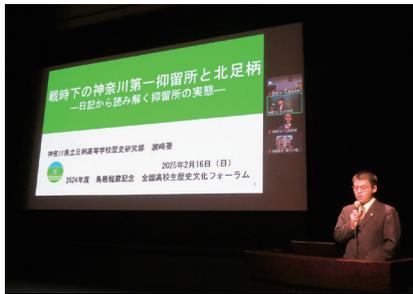
神奈川県立足柄高等学校 歴史研究部 池崎 純生、田口 晴生

「動乱の時代を乗り越えた秋田の戦国武将ー愛季・実季の政策ー」

秋田県立秋田北高等学校 歴史研究部 和田 蒼生

審査委員

桑原 恵氏（徳島大学名誉教授）、佐藤 正志氏（摂南大学名誉教授）、中村 豊氏（徳島大学教授）



全国高校生歴史文化フォーラムの様子

歴史のドアを開けよう!  
徳島から世界への挑戦!



## 2024年度 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム 報告書

---

2025年7月1日 発行  
編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館  
〒770-8070 徳島市八万町向寺山（文化の森総合公園内）  
TEL.088-668-2544 FAX.088-668-7197  
ホームページ <https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp>  
印刷：星印刷株式会社

---